

[トヨタ] タイヤ空気圧センサ ID 登録 (例 : GS (350/430/460))

概要

- タイヤプレッシャモニタバルブまたはタイヤプレッシャモニタレシーバのいずれかを交換した時は、“メイン送信機 ID 登録”を行います。
- 予め各タイヤプレッシャモニタバルブ (空気圧センサ : 送信機) の登録 ID を記録して準備します。

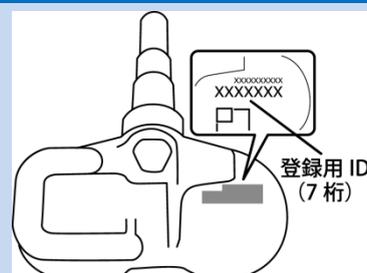
タイヤおよびホイール交換、またはタイヤローテーション時の注意

- 新しいタイヤプレッシャモニタバルブを装着したタイヤまたはホイールに交換した場合は、タイヤプレッシャモニタバルブの ID 登録を必ず行います。
- 別のタイヤセットを取り付けた場合は、セレクトスイッチの切り替えを必ず行います。(登録されているタイヤプレッシャモニタバルブが取り付けられているタイヤセットの場合)
- タイヤローテーションのみ行った場合は、タイヤプレッシャモニタバルブの登録およびセレクトスイッチ切り替えの必要はありません。

- 登録済みの ID はデータモニタによって確認することができます。

参考 :

- 登録 ID の読み取りが不可能の場合、ホイールからタイヤを外し、プレッシャモニタバルブ表面に印刷してある ID を確認します。



手順/操作

1. メイン送信機 ID 登録

1.	<p>イグニッションスイッチが OFF であることを確認して TPM-R を車両に接続し、イグニッションスイッチを ON にします。</p>																			
2.	<p>『メーカー選択』画面から 〔国産乗用車〕 - 〔トヨタ/レクサス〕 を 選択して [ENTER] を押します。</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">メーカー選択</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国産乗用車</td> <td>トヨタ/レクサス</td> </tr> <tr> <td>輸入車</td> <td>日産/インフィニティ</td> </tr> <tr> <td>国産トラック</td> <td>ホンダ/アキュラ</td> </tr> <tr> <td>OBDII</td> <td>三菱</td> </tr> <tr> <td>HV整備モード</td> <td>スズキ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ダイハツ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>マツダ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>スバル</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">ENTER : 選択 EXIT : 戻る</p>	メーカー選択		国産乗用車	トヨタ/レクサス	輸入車	日産/インフィニティ	国産トラック	ホンダ/アキュラ	OBDII	三菱	HV整備モード	スズキ		ダイハツ		マツダ		スバル
メーカー選択																				
国産乗用車	トヨタ/レクサス																			
輸入車	日産/インフィニティ																			
国産トラック	ホンダ/アキュラ																			
OBDII	三菱																			
HV整備モード	スズキ																			
	ダイハツ																			
	マツダ																			
	スバル																			

3.

『地域設定』画面から [日本] を選択して [ENTER] を押します。

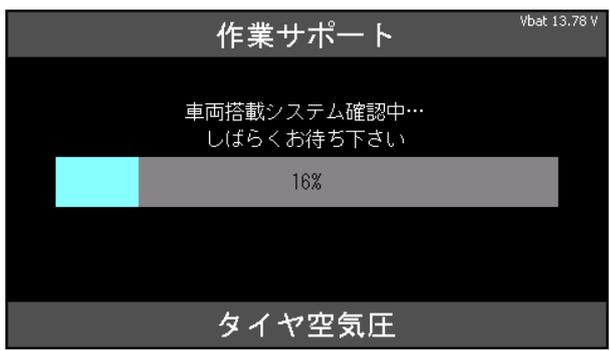


『車両選択』画面から [自動検出] を選択して [ENTER] を押します。
その後、車両を正しく選択します。



4.



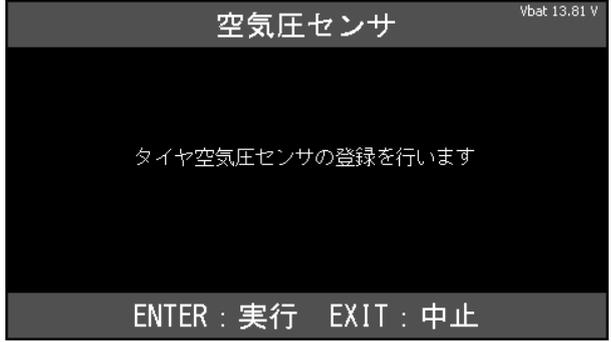
<p>5.</p>	<p>『トヨタ メインメニュー』画面で 〔作業サポート〕を選択して [ENTER] を押します。</p>	 <p>トヨタ メインメニュー vbat 13.78 V</p> <p>診断 カスタマイズ 作業サポート</p> <p>アクティブテスト</p> <p>ENTER : 選択 EXIT : 戻る</p>
<p>6.</p>	<p>『作業サポート』画面で〔作業サポート[New]〕 を選択して [ENTER] を押します。</p>	 <p>作業サポート vbat 13.78 V</p> <p>作業サポート [New]</p> <p>作業サポート [Previous]</p> <p>ENTER : 選択 EXIT : 戻る</p>
<p>7.</p>	<p>車両搭載システムの確認が始まります。</p>	 <p>作業サポート vbat 13.78 V</p> <p>車両搭載システム確認中… しばらくお待ち下さい</p> <p>16%</p> <p>タイヤ空気圧</p>
<p>8.</p>	<p>『作業サポート』画面が表示されましたら、 〔空気圧センサ〕を選択して[ENTER] を 押します。</p>	 <p>作業サポート vbat 13.80 V</p> <p>エンジン</p> <p>トランスミッション</p> <p>ABS/VSC</p> <p>空気圧センサ</p> <p>電動パワステ</p> <p>A/C</p> <p>エアバッグ</p> <p>CAN/バスゲートウェイ</p> <p>ENTER : 選択 EXIT : 戻る</p>
<p>9.</p>	<p>『タイヤ空気圧サポート』画面が表示されましたら、 〔空気圧センサ〕を選択して [ENTER] を 押します。</p>	 <p>タイヤ空気圧 vbat 13.83 V</p> <p>データモニタ</p> <p>空気圧センサ</p> <p>ENTER : 選択 EXIT : 戻る</p>

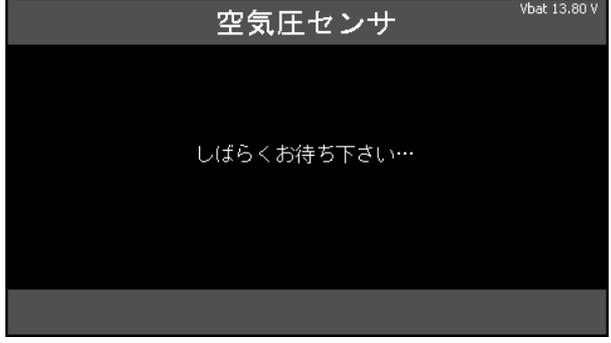
<p>10.</p>	<p>[メインセット] を選択して [ENTER] を押します。</p>	
-------------------	--------------------------------------	--

注意 :

- 登録を実行した時点で、今まで登録されていた ID は消去されます。
- 送信機 ID 登録は、作業実施画面が表示されてから、300 秒以内に 4 輪すべての登録を行います。
- リセットスイッチ操作後の初期化処理状態の場合は、登録作業はできないので初期化処理の中止を行なうか初期化完了後に登録作業を行います。

<p>11.</p>	<p>4 輪すべてのタイヤプレッシャモニタバルブの ID を入力します。 入力後 [ENTER] を押します。</p>	
-------------------	---	---

<p>12.</p>	<p>[ENTER] を押して登録します。</p>	
-------------------	---------------------------	--

<p>13.</p>	<p>登録中です。</p>	
-------------------	---------------	--

<p>14.</p>	<p>4 輪すべての ID 登録が完了しました。 登録が完了しましたら、初期画面まで戻り イグニッションスイッチを OFF にします。</p>																									
<p>15.</p>	<p>再度イグニッションスイッチを ON にして 手順 2~8 まで進み、【データモニタ】 を選択し て [ENTER] を押します。</p>																									
<p>16.</p>	<p>空気圧が正常に表示されていることを確認 します。</p>	 <table border="1" data-bbox="890 990 1505 1258"> <thead> <tr> <th colspan="2">初期化S/W状態</th> <th>OFF</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>送信機1タイヤ空気圧</td> <td></td> <td>267.5 kPa</td> </tr> <tr> <td>送信機2タイヤ空気圧</td> <td></td> <td>257.5 kPa</td> </tr> <tr> <td>送信機3タイヤ空気圧</td> <td></td> <td>262.5 kPa</td> </tr> <tr> <td>送信機4タイヤ空気圧</td> <td></td> <td>265.0 kPa</td> </tr> <tr> <td>送信機5タイヤ空気圧</td> <td></td> <td>N/A</td> </tr> <tr> <td>送信機1タイヤ内温度</td> <td></td> <td>-40 °C</td> </tr> <tr> <td>送信機2タイヤ内温度</td> <td></td> <td>-40 °C</td> </tr> </tbody> </table>	初期化S/W状態		OFF	送信機1タイヤ空気圧		267.5 kPa	送信機2タイヤ空気圧		257.5 kPa	送信機3タイヤ空気圧		262.5 kPa	送信機4タイヤ空気圧		265.0 kPa	送信機5タイヤ空気圧		N/A	送信機1タイヤ内温度		-40 °C	送信機2タイヤ内温度		-40 °C
初期化S/W状態		OFF																								
送信機1タイヤ空気圧		267.5 kPa																								
送信機2タイヤ空気圧		257.5 kPa																								
送信機3タイヤ空気圧		262.5 kPa																								
送信機4タイヤ空気圧		265.0 kPa																								
送信機5タイヤ空気圧		N/A																								
送信機1タイヤ内温度		-40 °C																								
送信機2タイヤ内温度		-40 °C																								

参考 :

- タイヤ空気圧のデータ更新に約 1 分かかる場合があります。
- サブ送信機 ID 登録の要領は、メイン送信機 ID 登録と同様の手順で行います。

注意 :

- 送信機の ID コードが登録できていない場合は、約 60 分後にダイアグコード (C2171/71 または C2172/72) がメモリされます。

2. タイヤ空気圧初期化

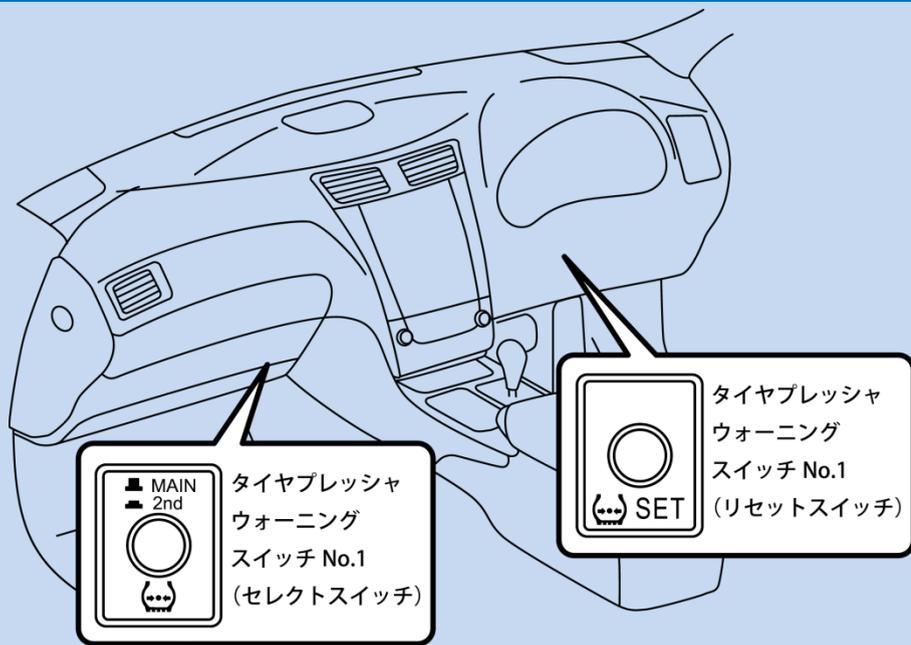
注意 :

- タイヤプレッシャモニタバルブまたはタイヤプレッシャモニタレシーバを交換した時に、ID 登録後、タイヤ空気圧の初期設定作業を行います。
- タイヤサイズ変更などのタイヤ基準圧が変わる場合は、必ずタイヤ空気圧の初期設定を行います。

準備 :

- タイヤ空気圧を点検して規定圧に調整し、車両停止状態でイグニッションスイッチを ON にします。

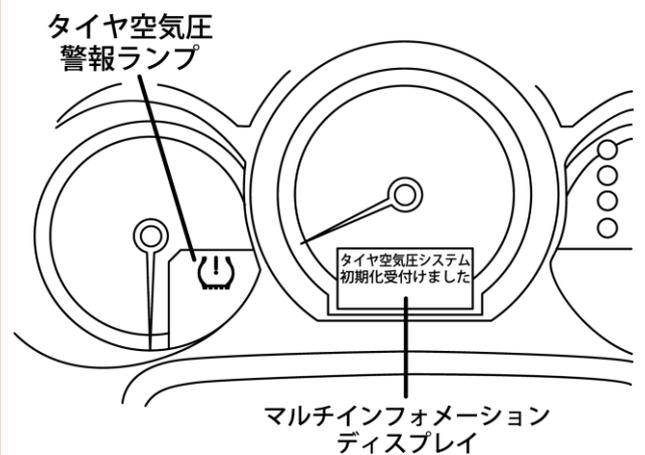
配置図 :



1.

タイヤプレッシャウォーニングスイッチ No.1 (リセットスイッチ)を3秒以上押し、コンビネーションメータ内タイヤ空気圧警報ランプが3回点滅(1秒間隔)することを確認します。

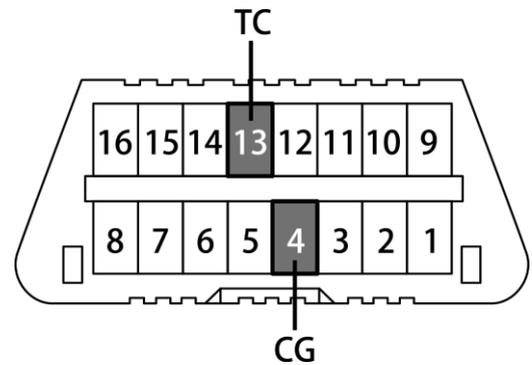
※エンジンが始動している場合はマルチインフォメーションディスプレイに“タイヤ空気圧システム初期化受けました”と表示されます。



2.

イグニッションスイッチを ON にして 2~3 分車両を待機させて、初期化を行います。
その後、イグニッションスイッチを OFF にします。

※初期化作業は OBD2 診断コネクタの TC 端子←→CG 端子間を短絡することにより中止することができます。



注意 :

- 初期化は通常、2-3 分で完了します。
- 初期化が正常に終了しなかった場合は、走行開始して約 20 分経過後にダイアグコード (C2177/77) が出力されます。

3. タイヤ空気圧初期化完了の確認

1.

メイン送信機 ID 登録 の手順 1~8 まで進み、
[データモニタ] を選択して [ENTER] を押します。



2.

すべてのタイヤ空気圧が規定圧で表示されていれば初期化完了です。

データモニタ		Vbat 13.84 V
初期化S/W状態		OFF
送信機1タイヤ空気圧	267.5 kPa	
送信機2タイヤ空気圧	257.5 kPa	
送信機3タイヤ空気圧	262.5 kPa	
送信機4タイヤ空気圧	265.0 kPa	
送信機5タイヤ空気圧	N/A	
送信機1タイヤ内温度	-40 °C	
送信機2タイヤ内温度	-40 °C	

Buttons: [データ保存] [印刷]

参考 :

- タイヤ空気圧のデータ更新に約 1 分かかる場合があります。